

にしおわりエフエム第23回番組審議会議事録

1. 開催日時

平成29年2月28日（火）15時00分から16時35分

2. 開催場所

西尾張シーエーティーヴィ株式会社 1階会議室

3. 出席者

番組審議委員 : 鈴木尚英委員長、加藤俊男委員、東嶋とも子委員、川原史子委員、
佐藤雅人委員、岡村智彦委員、平野憲治氏（佐野まゆみ委代理）、
以上7名

西尾張シーエーティーヴィ(株) : 植田徹治(企画・制作部長)、服部全志(編成制作Gマネージャー)、
川口傑(編成制作G主任)、神田雅司(編成制作G)
以上4名

4. 議事内容

(1) 社長挨拶（代理植田部長）

本日の審議会にて来期編成について説明を予定。

元旦に発生した愛西市内の火災にて、弊社のテレビサービスが大規模で停波
自然災害のみでなく火災発生時などFM告知を今後検討するにあたり改めて認知度
の問題を痛感した。今後大規模火災などの発生時にもFMでの情報発信に努める。

(2) 鈴木委員長挨拶

委員の皆様のご協力もあり一歩一歩進んでいる状況、本日も忌憚のないご意見を頂戴
したい。

(3) 報告事項

① 第22回審議会（12月開催）での答申

広報のお知らせにおいて期間の過ぎた情報が流れている点について

- ・西尾張／来期の編成案に反映し、従来自治体毎に横(曜日)編成だった広報番組の
放送枠を毎日(朝・晩)各自治体広報が流れるように編成を組みなおした。
曜日毎編成だった為全自治体分の放送素材が揃わなければ切り換えを実施
していなかった素材を、到着次第切り換えを実施し、フレッシュな情報を
提供するよう努める。

編成について聴取者の生活リズムも考えるべき

- ・西尾張／来期編成案に反映し対応。生放送での情報番組枠を変更、拡充し対応。
午前枠、正午枠、夕方枠へ拡張

② 近況報告

<特記事項>

12月21日のNHK名古屋放送局「夕刊ゴジらじ」へのコーナー電話出演、12月23日の小学生アナウンサー体験(4日間90名参加)の実施、12月31日・1月1日の年末年始とくばん「師走もななみ(2時間)」「あけおめななみ(5時間)」生放送、1月22日のタレントきくち教児生出演イベントの実施、2月3日の津島神社節分祭会場から水谷ミミ生中継の実施、3月1日のNHK名古屋放送局「夕刊ゴジらじ」へのコーナー電話出演予定について説明。

<災害放送について>

1月14日(土) 大雪警報・着雪注意報スポット放送実施を説明。

<来期の編成について>

【方針】

- ・緊急情報発信(自治体と連携した災害放送訓練実施)
- ・地域密着情報発信(生放送番組枠の拡大)
- ・認知度アップ(市民パーソナリティの活用)

【改変内容】

- ・モーニングインフォメーション 放送時間の拡充(15分→120分)
- ・アフタヌーンバラエティ 放送時間変更(13時～15時30分→12時～14時)
- ・BANGなな 放送時間の拡充(30分→60分)

【新番組】

心が楽になるラジオ(仮称) (30分録音番組/週更新)の制作

新パパママおやすみ(仮称) (30分録音番組/週更新)購入から自社制作番組へ変更

③ 4月番組編成案について

別添資料にて変更点説明

生放送枠の変更、自治体広報番組編成変更、新番組編成枠の説明、ミュージックハート(CS全国放送ラジオ)の生放送枠を活用し自社生放送で地域色、全国生放送で日時色を出せる編成へ変更。

- ・川原委員/新番組のパパママおやすみのタイトル候補はある程度決まっているか？
タイトルから番組内容が連想出来るものが望ましい。
例えば「読み聞かせ」等。
- ・西尾張 /参考のうえ検討する。
- ・加藤委員/3月1日のNHK夕刊ゴジらじの放送時間は決まっているのか？
- ・西尾張 /17時45分頃からと聞いている。
- ・加藤委員/元旦とくばんについて時間的な余裕がもう少しあった方が良かったと感じた。
移動しての中継の為、中継先で出演者を待たせるようなケースもあった。
移動中の映像に走行中の近隣の情報が出せると尚良い。例えば蟹江町走行中に「この右手側には有名な推理作家小酒井不木の碑がある」などの情報

を混ぜると深みも増したと思う。その解説要員として地域のガイドボランティアを地域毎で同乗させる等の活用も必要。

- ・西尾張 / 次回同様な取り組みを実施する際には検討する。
- ・加藤委員 / 編成方針の地域密着情報の発信については、現在の飛びだせななみ号の放送内容に季節感も必要。もっと中継先の内容を行政、地域団体の協力も得てしっかり情報収集して欲しい。
情報収集し人と接触する事がFMななみの存在価値を向上させPRにつながる。
行政広報番組については、編成改変で改善するとあったが蟹江町のボランティアは月初に録音素材を提出していると聞くが、実際に放送が切り替わるのは毎月16日前後。この辺りから改善して欲しい。
常にリスナー目線での放送、編成を心掛けて欲しい。
- ・西尾張 / ボランティアの方による録音広報の活用ももちろんだが、今回の午前の生放送枠では、各自治体広報誌の掲載内容を生で読み上げる時間帯を儲けタイムリーな情報発信に心掛ける。
夜間の聴く広報枠の編成は全自治体の広報音源を毎日縦編成で放送することになる。これまでの曜日毎でしか各自治体が聴けなかった状況を改善し、新着音源から早々に放送する。
他にも高校生への番組参加も呼びかけ、タイムリーな音源を増やす事に取り掛かる。当面は放送部の活動のある佐屋高校への依頼を実施中。
- ・東嶋委員 / 高校生への呼びかけは放送部に限る必要は無いと思われる。黎明高校等はボランティアに従事する部活動も存在するので全ての高校へ依頼すべき。
生徒を地域活動へと誘いたい意向を持っている学校は意外と多い。
- ・西尾張 / エリア内の全高校へのアプローチを実施する。
- ・加藤委員 / 大学でも放送局の実習が単位となるような学校も存在する。ななみでも同様に大学生の受入などを検討してみてはどうか？
愛知大学へのアプローチなどしてみる価値はあると思う。
- ・西尾張 / 連携の観点で、現状の市民パーソナリティのみでなく専門学校生等にトレーニングの場を提供するというアプローチを実施していく。
- ・岡村委員 / 蟹江町としては愛知大学との提携があるが、町として要望などを申し入れるには難しい面も正直ある。但し過去には専門学校などへデザインコンペへの参加依頼を実施し、各種デザインを決定する等の試みの実績もあるのでアプローチしてみる価値はあると思われる。
- ・佐藤委員 / 弥富市としては広報に関して、毎月誌面は20日までには稿了する。現状はその後印刷にまわり広報完成後に読み聞かせボランティアが収録している状況。少なくとも校了原稿で20日過ぎに収録してもらうことへの変更は可能な為、依頼対応してみる。他に黎明高校ともパイプがあるため高校生の読み上げ対応も可能と思われる。他には愛知大学、大原簿記専門学校などにもコネクションはあるので必要に応じて相談してもらえれば対応する。
- ・平野委員 / 現状の広報読上げ番組に関しては、以前より行政担当者として古い話題が流れる事への問題は感じていた。編集作業などで古い話題をカットできる

のであれば是非実施して欲しい。

冒頭の挨拶で元旦の火災による放送事故の話があったが、有事の際の対応体制はどの様になっているのか？

- ・西尾張 / 障害発生時には4人一組の対应当番が定められており、必要に応じて緊急放送を実施する体制になっている。
逆に今回のような火災などによる放送障害の発生時に、FMの放送はもちろんだが、行政の協力により行政ホームページへの情報掲載や、広報車などで市町村内でアナウンスしていただく事は可能か？
- ・佐藤委員 / ホームページへの情報掲載については担当者のやる気次第と考える。
但しケーブルテレビといえども民間企業の情報という問題は正直残る。
- ・東嶋委員 / 官民協働の観点から、緊急時にどこまで情報が行政からななみに流れるようになってきているのか？
特に災害対策本部が立上った際など、どの様にすれば可能となるかの取り決めは必要。
- ・西尾張 / 協定により災害対策本部が立上った際には情報が行政からのメールFAXで届く事になっている。
- ・東嶋委員 / 訓練も自治体と連携して実施をしてはどうか？
- ・岡村委員 / 7自治体とななみで一斉に訓練を実施する事は可能と思われる。
- ・西尾張 / 毎年海部地区合同の防災訓練があり、当社も現地で緊急放送訓練を実施で参加している。今年も予定されているが訓練の参加方法を現地のみでなく局舎にて自治体からの連絡を受けての災害訓練放送の実施を訓練項目に加えるなど工夫をしたい。今年の訓練方法はこれから提出の為、今年はその内容で実施できるよう対応する。
- ・岡村委員 / 自治体からの情報発信について、災害時等は統一されているが、先程の緊急放送実績にあった気象情報に関しては必要とされる情報の認識に差異があると思われる。自治体では気象情報に関し雪などはあまり意識していない。休校の判断となる暴風雨警報等には対策本部なども含め対応するが、雪は道路管理者への凍結防止剤の散布を依頼する程度。
但し今後ななみとして同様に情報発信していくのであれば自治体としても提供できる情報があるはず。今後調整が必要であり、情報集を実施してもらう必要性もある。自治体窓口の調整などが必要。
- ・加藤委員 / 飛び出せななみ号の放送で、市民パーソナリティのトークが冒頭の定型トークの部分は素晴らしいと思うが、インタビューなど実際の告知内容の話題になるとお粗末な部分が見受けられる。同様にテレビの放送面ではカメラ映像に工夫が足りない。固定カメラの映像も多く見ていて飽きてくる。資料や周辺の関連映像などを見せるなどの工夫が必要。
- ・平野委員 / 飛島村で宅地分譲地の醸成を放送した際は資料を用意し撮影していた。
- ・西尾張 / 飛びだせななみ号の中継の取組みは、今期スタッフの簡易中継への慣れを第1の目的として実施してきた。その点ではある程度成果は見られるが、現状放送内容への深掘りが不十分という認識はしている。今後見てもらう聴いてもらう工夫や労力を惜しまないことが必要であり、努力していく。

④ その他

元旦とくばん「あけおめななみ」を視聴

- ・川原委員／今のプレビューでも確認したが、蟹江サテライトの照明は暗いと思う。
テレビでななみの放送もあるのでゲストの方特に女性などは化粧等にも気を使って出演してくれる人も多いはずもう少し明かりについて意識してほしい。
- ・西尾張 /スタジオの天井高の問題ではあるが追加照明などを一度検討する。
- ・加藤委員／同様にテレビでななみの番組中、楽曲紹介の際や場面転換の際に店舗側通路をスタジオのガラス越しなどで撮影しているが、企業の広告ポスター等を掲示してスポンサードしてもらってはどうか？
- ・西尾張 /早速検討する。

(4) その他

- ・加藤委員／須成祭りのリーフレットを配布させてもらった。ユネスコ無形文化遺産に登録された内容を含め祭の内容をよく理解していただき今後の放送に役立てて欲しい。現在も特別展示を開催中のため是非クローバーTVななみ共に取材をして欲しい。
- ・西尾張 /報告事項として以下を報告。
1月31日昨年の津島警察署に続き蟹江警察署と緊急情報に関する協定を締結。
2月17日海部地域5消防署の署長会議にてななみへの情報提供についてのプレゼンテーションを実施。提供する情報の選定などを含め即時決定に至らず課題も残ったが、今後も継続して協議を続けることとなった。
次年度以降も現状の委員の皆さんで2ヵ月毎の番組審議会を開催予定。

以上にて閉会

文責：西尾張シーエーティーヴィ株式会社 川口 傑